

連続企画「文学部ラボ：学問と社会の現在とこれからを考える」
第9回のお知らせ

人文社会系研究科・文学部所属の院生・学生の皆さん

「文学部ラボ」は、1月9日に第8回を開催し、全体で70名ほどの参加がありました。

すでに予告しています通り、第9回は、1月30日（土）18:00から開催いたします。話題提供者と内容は次の通りです。

小松美彦教授（死生学・応用倫理センター）：
「日本学術会議会員任命拒否問題」の歴史的構造」

当日の内容と関わる資料を文学部ラボの Slack「今後の運営と予定」チャンネルにあげてありますので、予め目を通しておいて下さい。

<https://w1604106649->

[xtt170706.slack.com/archives/C01DJLAJUKG/p1611809819001000](https://w1604106649-xtt170706.slack.com/archives/C01DJLAJUKG/p1611809819001000)

これまで参加された方は、今回特に申込みは必要ありません。前回までと同様の URL からアクセス下さい。まだ登録が済んでいない方は、以下に記した要領で参加の申し込みを行って下さい。

なお、次回は3月初頭を予定しています。

皆さんの積極的な参加を希望します。

企画の趣旨と実施要領

本研究科・日本文化研究専攻の加藤（野島）陽子教授を始めとする人文系・社会科学系の研究者6名が、日本学術会議より第25期会員候補者として推薦されていたところ、内閣総理大臣により任命されなかったという事態については、皆さんもよくご存知だと思います。

私たち、人文社会系研究科・文学部の教員は、この事態を大きな憂慮をもって受け止め、教員の総意のもとに、大西克也研究科長がメッセージを10月6日に出し、また、10月22日には教授会もまた名を連ねました。

この間、教員の間で、この事態について様々な議論がありましたが、その議論の過程において、この問題に関する教員としての直接の対応とは別に、この問題が提起する様々な問題、すなわち、学問の自由、学問と社会のあり方、さらには言論の自由等の問題について、教員・院生・学生が人文学の立場からともに考え、学問的に議論す

る場を設けたいという声があがり、教員・院生・学生向けの連続企画「文学部ラボ：学問と社会の現在とこれからを考える」（以下、「文学部ラボ」）を人文社会系研究科・文学部として開講することが決まりました。

については、「文学部ラボ」への積極的な参加を院生・学生の皆さんに呼びかけるものです。

「文学部ラボ」は、履修登録・単位認定を行う正規の授業という位置づけではありませんが、人文社会系研究科・文学部として、人文学を中心とした学問の価値を語り継ぐことを目的としています。皆さんの積極的な参加を希望します。

実施要領：土曜日（18：00～20：00）に、Zoomを用いてオンラインで実施する。毎回、発表者一名か二人の話題提供・講義、その後、30分程度の討議。

参加者：本研究科・本学部教職員・院生・学生。

参加申し込み：Google フォームでの事前申し込み制。以下の URL からアクセスして登録して下さい。登録するメールアドレスは、必ず東京大学のメールアドレス（u-tokyo.ac.jp を含む）にして下さい。追ってこのアドレスに Zoom のミーティング URL を送付します。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf-gV5PaSB3uHv1DwAEvwV8eHYLKE-kv41LxGqfKD16glqqug/viewform?usp=sf_link

問い合わせ先

鈴木 泉 (izumisz@mac.com)

教員を代表して

楯岡求美・出口剛司・鈴木 泉